

中山間地域等直接支払制度の実施状況

平成１６年５月２６日

松 代 町 農 林 課

○ 松 代 町 の 概 要

松代町は、新潟県の南西部、東頸城郡の東端に位置し、標高150mから450mの丘陵部に35集落が散在する人口4,373人の中山間地域です。

町の基幹産業である農業は稲作が中心ですが、780戸ある農家の1戸当り平均経営作付面積は0.65haと小規模で、第2種兼業農家が7割以上を占めています。

農地の約80%は傾斜度1/20以上の棚田形状であるため、ほ場整備率も40%程度と低く土地利用型農業の展開が難しいため、土地集約型の園芸作物である「夏秋ナス・シシトウ」や地域資源を活用したヤマウド・ゼンマイをはじめとした山菜の栽培による振興に力を入れています。

また、水田の転作田による工芸用青刈り稲を活用したしめ縄加工に集落単位で取り組んで、付加価値を高めた製品をつくっているほか、近隣市町村とすすめている“越後田舎体験”の取り組みにより、体験インストラクターや農家民泊を中心とした都市部の児童生徒との山村都市交流が活発に行われるようになりました。

棚田の景観が注目されるなか、棚田の持つ多面的な機能が中山間地の豊富な資源とともに見直されつつあります。このような中で、グリーン・ツーリズムによる交流事業が新たな展開を見せており、支援をすすめています。また、一方、豪雪地帯における施設型農業を展開しており、町では、サラダ菜として人気のあるリーフレタスを生産する植物工場や菌床椎茸の栽培施設の導入をすすめてきました。こうした事業により農業の担い手の確保をすすめています。

しかし、農家人口の減少や高齢化、農業所得の低迷は依然として進行しております。そうした中で、農地の保全や管理の主体となる担い手の育成、そして、水田の持つ多面的な機能を結びつけた地域づくりが集落外の人たちの手も加えられてすすめている中、都市・農村の交流をどのように生かしていくのかを、ビジョンの策定とあわせて検討をすすめてきました。

今後も集落における農業者の確保や農地の耕作放棄の防止は大きな課題であることから、町では、点在する集落の現状を踏まえて、まず、集落内の話し合いを持ちながら、高齢化のすすむ集落においては、生産組織を核とした2～3の複数の集落単位による担い手の確保や優良農地の保全を図ることを目指した営農の取り組みを推進しています。

○松代町の概況

＜資料：農林業センサス（H14は町資料）＞

（１）農家について

年次	総世帯数	総人口 (65才以上割合)	農家戸数	農業就業人口 (65才以上割合)	専業 農家数	第1種 兼業数	第2種 兼業数	自給 農家
H2	1,543	5,319(22.8%)	969	1,287(17.9%)	63	147	558	201
H7	1,483	4,831(29.1%)	870	990(34.4%)	68	97	472	233
H12	1,434	4,373(35.5%)	780	895(37.0%)	106	74	371	229
H14	1,472	4,278(37.7%)						

（２）土地と生産組織について

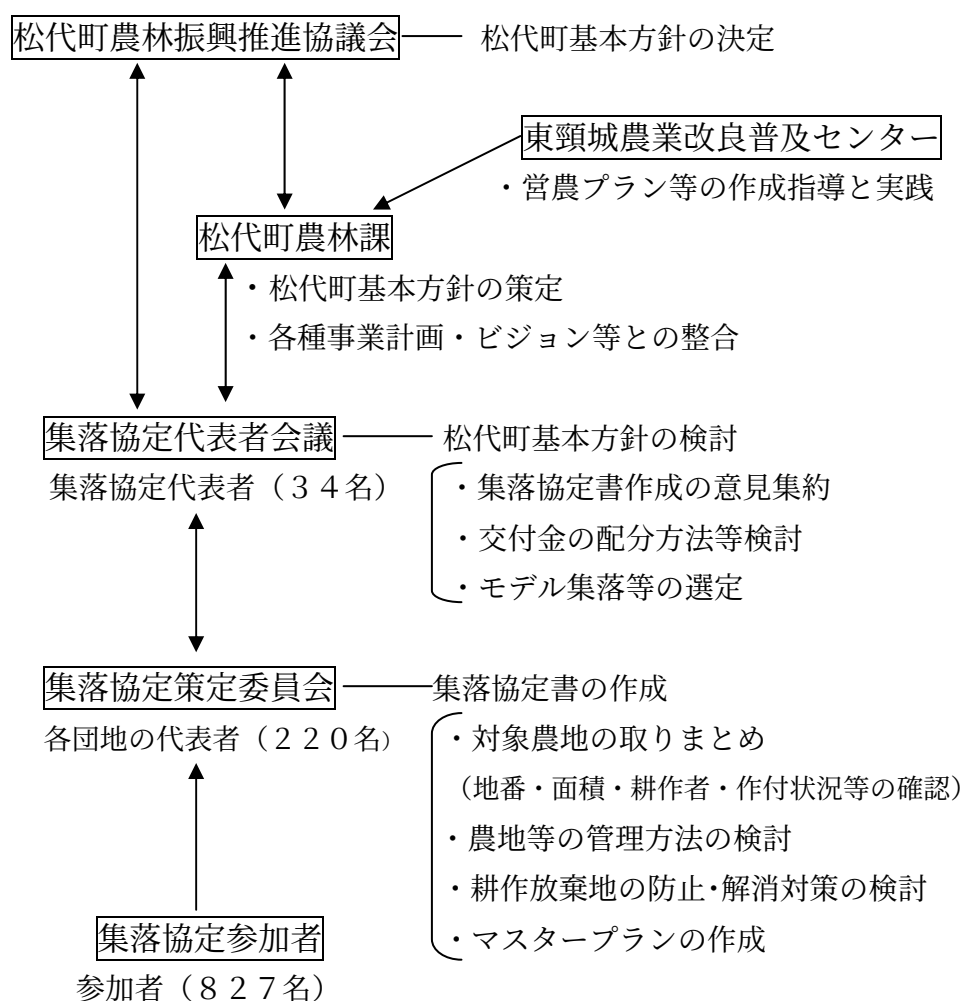
年次	作付面積(ha)				1戸当り平均 作付面積(ha)	生産組織数	認定 農業者数
	田	畑	その他	合計			
H2	655.2	49.8	6.0	711.0	0.73	13	—
H7	516.6	40.0	0.2	556.8	0.64	18	40
H12	489.0	44.0	0	533.0	0.65	24	49
H14	480.0	43.0	0	523.0	0.64	24	47

（３）米の生産状況について

年次	水稻:トン	作況	10a当たり 収量:kg	転作達成状 況:ha %	転作目 標面積	限度数量 上: うるち下:もち	売り渡し 実績
H2	3,080	106	432	164.2(114.3%)	143.6ha	62,600袋 1,404袋	57,575袋 1,019袋
H7	2,360	98	410	181.0(100.5%)	160.5	62,278 520	40,521 3,641
H12	2,150	104	446	223.2(102.5%)	217.8	42,648 342	42,211 452
H14	2,180	104	455	224.6(102.4%)	219.4	40,314 262	41,346 375

○直接支払制度への取組状況

(1) 松代町の直接支払制度推進体制



(2) 制度の実施状況

集落協定数		団地数		加入者数		農家加入率(%)		集落活性化プラン	
3 4		2 1 4		8 2 7名		9 2. 0		3 4協定で策定	
対象農地面積（ha）						対象農地 面積合計 （ha）	対 象 農地率 （%）	交付金 （千円）	
田 701.4			畑 8.1						
急傾斜	小区画・ 不整形	緩傾斜	急傾斜	緩傾斜					
661.6	3.9	35.9	1.7	6.4		7 0 9. 5	6 5. 0	1 4 2, 5 3 0	

(3) 松代町の農地の標高別面積

標高	面積(ha)	割合(%)
150m未満	5.2	1.0
150m～200m	54.3	10.2
201m～250m	125.8	23.8
251m～300m	168.3	31.8
301m～350m	107.4	20.3
351m～400m	49.8	9.4
401m～450m	11.8	2.2
451m～500m	5.2	1.0
501m以上	1.4	0.3

(4) 松代町の農地の傾斜度

傾斜度	面積(ha)	割合(%)
1/5以上	128.2	24.2
1/5～1/10	188.4	35.6
1/10～1/20	128.3	24.2
1/20～1/50	65.8	12.5
1/50～1/100	13.3	2.5
1/100未満	5.2	1.0

- ・(1)は1団のまとまりのある農地の団地単位の最高点の標高である。
- ・(2)は農地の団地単位の、最高点と最低点での標高差による測定である。

(5) 集落の独自性を生かした共同活動への取り組みと地域の活性化について

共同活動等	対象集落	取組計画	期待できる効果
1.都市交流	田沢 菅刈 福島 他	・八王子市・世田谷区との自然体験・農作業体験交流 ・農産物等の産直販売 ・イベント交流 など	・交流人口の受入による集落の活性化 ・施設の有効利用 ・農業所得の増加
2.郷土芸能伝習	犬伏 孟地	・伊澤和紙の復活 ・郷土芸能（犬伏太鼓）の伝習	・伝統文化の継承 ・重要文化財の保護 ・集落内の世代間交流
3.農産物活用促進	儀明 室野 他	・そば園の造成 ・直食・体験活動 ・新作物の栽培展開	・農産物の有効活用 ・そば打体験の指導による集落の活性化 ・生産組織の強化
4.自然保護	蓬平 海老 苧島 他	・荒廃田でのジオトープの実施 ・天然記念物（浮島）保護 ・ホタルの川整備	・荒廃農地の保護 ・集落の美観形成 ・生態系観察教育
5.農業機械の共同購入・共同利用	田野倉 苅平 下山 他	・青刈稲の共同乾燥作業 ・農作業機械の共同購入 ・農作業施設費の共同負担	・農作業コストの削減 ・機械・施設の有効活用
6.農業基盤改善	松代 東山 桐山 他	・農道舗装 ・かん水施設整備 ・春先の苗代除雪	・集落内環境整備 ・農業コスト削減 ・誰でも作業できる圃場づくり
7.その他	峠 松代 竹所・木和 田原	・除雪用バルーザ格納庫 ・屋外アート保護活動 ・ブルドーザー購入負担金	・冬期の生活環境改善 ・観光施設の保全 ・冬期の集落内交通確保